

「負けへんで根性や！」

滋賀県

甲賀市立伴谷小学校 五年

味田 梓生

私のお母さんは、とても変わっている。

私が悪い事をして素直に「ごめんなさい。」と言うとお母さんはすごく怒って、

「簡単に『ごめんなさい』と言うな！謝るな。謝らなアカン事は最初からすんな！『ごめんなさい』に失礼やろ！『ごめんなさい』に謝れ！」

と言うのだ。意味が分からない……。

お母さんはとても大人気がない。子供と遊ぶ時はいつも全力でしんけん勝負だ。決して手をぬかない。私とテレビゲームをすると必ず、

「お母さんは誰にも負けへんで！アンタとは根性が違うんや！負けへんで根性やー！」

と言う。そして必ずといっていい程、勝負に負ける。

お母さんが対戦ゲームでいつも負けているのに自信満々で、諦めない理由が私にはわからない。

私は、全く逆の性格で、何でもやる前から、

「そんな無理やもん。絶対出来ひんもん。」

とすぐに言う。するとお母さんは、

「やる前から諦めるな！『私は出来る。絶対出来る』って何度も心の中で言い聞かせるんや！アスなら出来る。絶対出来る。」とまるで、台風と竜巻と雷が一度にやって来たみたいに怒る。私は石になったみたいに固くなって、だまって下を向いてしまう。

四年生の運動会の日、お母さんの声はガラガラでオッサンの声みたいだった。

学年別リレーの時、私のチームはトップだったのに、私の順番が回ってきて、ドンドンぬかされ、なんと最下位になってしまった。必死でトラックを走っている私の耳に誰よりも大きなお母さんの応援の声が聞こえてきた。

家に帰ってきた私にお母さんは、

「よく頑張ったなあ。梓生が一番輝いてたで！お母さん、ほんまに嬉しかったん！」

と言いながら普段めつたにほめてくれないお母さんが何度も頭をなでてくれた。

本当に嬉しかった。最後まで諦めずに走ったから、お母さんは喜んでくれたのだ。まるで、暗く曇っていた空が急に晴れて、虹が出たみたいな気分になった。

対戦ゲームで、何度負けても諦めない母の考えが少し変わった気がした。

お母さんの子供に生まれてきて本当に良かった。

怒るととても恐いし、全然ほめてくれないけど、いつもまっすぐで、しんけんに向かい合ってくれるお母さん。

これからは何でもやる前から、「無理だ」とか、「絶対出来ない」なんて言わない。

「私は出来る！絶対出来る！負けへんで根性やー！」